

# 福井県立図書館(1/2)

## 県立図書館は情報のワンダーランドです

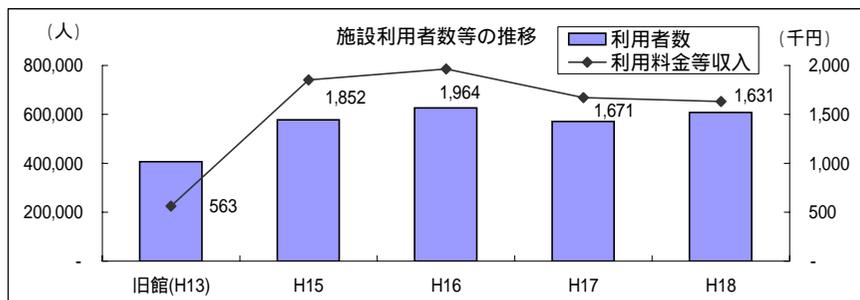
所在地	福井市下馬町51-11		
設置年月日	昭和25年4月1日(平成15年2月1日新築移転)		
施設の種類	図書館	施設管理主体	県
設置の目的	図書その他の必要な資料を収集し、整理、保存して、広く県民の利用に供し、本県における生涯学習の拠点を目指す。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)、地上5階、地下1階 延床面積15,317㎡、蔵書69万冊(開架30万冊、書庫39万冊)		
職員数	職員24人 事務補助員1人 アルバイト3人 計28人		

### 利用状況等

	旧館(H13)	H15	H16	H17	H18
利用者数(人)	406,585	577,568	626,208	571,359	607,409
個人貸出冊数(冊)	286,896	725,734	788,468	690,285	713,826

### 利用者負担(利用料金)等

施設使用料	多目的ホール	21,000円 (全日の場合)
複写手数料	白黒	10円
	カラー	80円



利用状況の推移	<p>平成15年2月に新館を開館し、平成15年度の利用者数、個人貸出冊数ともに旧館時代に比べ1.5倍以上となりました。</p> <p>平成18年度の利用者数は約61万人と前年度と比べ約6.3%、個人貸出冊数は約71万冊と前年度より3.4%それぞれ増加しました。</p>
---------	--

### 施設の特徴

身近な課題の解決や調査研究等の支援など地域や県民に役に立つサービスを提供しています。

#### 企画展示等

- ・一般企画・子ども室特集コーナー  
身近な問題の解決に役立つ資料の紹介や関係機関と連携した講座等を開催し、積極的な情報の提供を行っています。
- ・ふるさと文学コーナー、白川文字学の室  
郷土作家の作品や福井が舞台の作品、白川先生の業績や漢字の成り立ちについて紹介しています。



#### レファレンス(調査・相談)

課題の解決に必要な資料や情報を調査し、紹介、提供しています。  
産業支援コーナーでは、関連図書等を配置し、商用データベースや官報情報を利用することができます。

#### 研修会・講演会等の開催

県内図書館職員の資質向上のため、研修会を開催しています。  
講演会や企画展示に関する講座、子ども向け行事を開催しています。

#### 利用者サービス

- ・相互貸借、総合目録システム  
県内図書館の蔵書を検索でき、県内外の図書館の資料を借りることができます。
- ・インターネット予約サービス  
インターネットで、県立図書館の資料を予約することができます
- ・遠隔地利用者返却サービス  
県立図書館で借りた資料を、近くの市町立図書館で返却できます
- ・フレンドリーバス  
県立図書館図書館と福井駅間を30分間隔で運行し、無料でご利用いただけます
- ・エントランスホールを展示等に無料でお貸ししています



#### 県立図書館ホームページ

<http://www.library.pref.fukui.jp/>

### 平成18年度の特徴について

事業実績	<p>福井県ゆかりの作家25人を取り上げ、肖像写真やプロフィール、代表作を紹介するとともに作家直筆原稿や愛蔵品などを展示した「ふるさと文学コーナー」を開設しました。【事業費:1,156千円】</p> <p>県立図書館を利用する遠隔地利用者の利便性向上のため、市町立図書館29館と連携し「遠隔地利用者返却サービス」を開始しました。【利用冊数:5,657冊】</p> <p>貴重な歴史資料を公開し、郷土の先覚者の気概を知っていただくため、特別展「杉田玄白と解体新書」を開催しました。【閲覧者:10,108人】(含若狭図書学習センター)</p> <p>一般企画コーナーでは、身近な問題を解決するための提案型の資料を提供しています。『カラダにイイことしてますか?』『冬の楽しみ』など月ごとにテーマを決め企画展示を開催し積極的に情報を発信しました。</p> <p>子ども室ではおはなし会や子ども映画会・えほんとかみしばいの会などを毎週開催しました。【開催回数:79回、参加人数:1,859人】</p> <p>白川文字学の室では特別展示「白川静先生を偲ぶ」を開催しました。【来室者:1,084人】</p> <p>なお、平成18年度は、26,381冊の図書を購入しました。【決算額:70,787千円】</p>
------	---

# 福井県立図書館(2/2)

## 行政コスト計算書(平成18年度) (単位:千円)

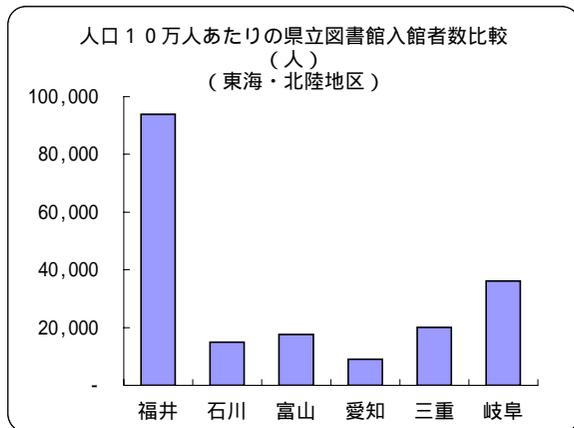
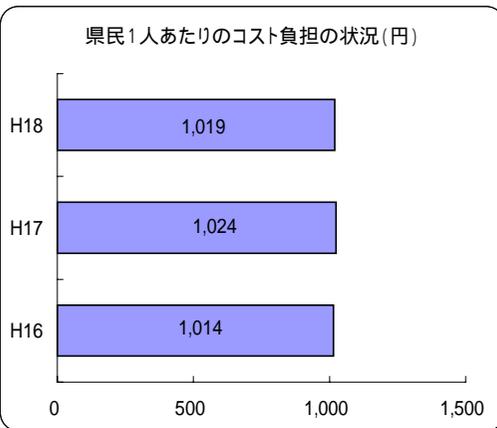
		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	238,968	28.6%	100.9%
	退職給与引当金繰入	1,560	0.2%	216.7%
	計	240,528	28.8%	101.3%
物にかかるコスト	物件費	290,840	34.8%	97.8%
	維持補修費	4,264	0.5%	157.7%
	減価償却費	175,156	20.9%	100.0%
	計	470,260	56.2%	99.0%
その他	公債費(利子)	123,175	14.7%	94.2%
	その他	2,670	0.3%	1355%
	計	125,845	15.0%	96.1%
合計		836,633	100.0%	99.2%
収入	利用料等収入	1,631	0.2%	97.7%
	その他収入	963	0.1%	99.5%
	一般財源	834,039	99.7%	99.2%

## バランスシート(平成19年3月31日現在) (単位:千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	13,539,889	98.7%	固定負債	9,267,544	93.2%
うち土地	5,445,525	100.0%	うち起債残高	9,076,624	93.0%
うち建物	7,656,269	97.9%	うち退職手当引当金	190,920	100.8%
うち資料	37,421	100.0%			
投資等	0	-	流動負債	679,425	100.0%
流動資産	0	-	正味資産	3,592,920	116.3%
計	13,539,889	98.7%	計	13,539,889	98.7%

## 主な指標 (単位:%、円/人)

	H18	H17	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	16,543	16,704	99.0%
県民1人あたり将来負担額	11,323	12,113	93.5%
世代間負担率	26.5	22.5	117.8%



福井県入館者数(若狭図書館学習センター含む)

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>平成15年に図書館を併設して約153億円をかけて整備しました。資産は建物約5割、土地が約4割を占めており、県民1人あたりの有形固定資産額は高い水準になっています。</p> <p>また、両施設の建設にあたって、約125億円の借入を行っています。18年度末残高が両施設で109億円あり、公債費の負担が大きく、県民1人あたりの将来負担額も高い水準にあります。</p> <p>人口10万人あたりの入館者数を近隣県の県立図書館と比較すると、5倍程度の利用実績があるなど、施設として有効に活用されています。</p> <p>なお、行政コストは、前年度比0.8%の減少と、前年度とほぼ同額になっています。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>管理部門:施設の維持管理 [H19予算額:約183百万円]</p> <p>事業部門 資料整備事業... 図書等の購入 [H19予算額:約68百万円] フレンドリーバス運行事業... 福井駅までの無料バスの運行 [H19予算額:約16百万円] 県立図書館サービス向上事業... 図書の返却場所拡大等利用者の利便性向上 [H19予算額:約2百万円] 県立図書館等歴史資料活用事業... 所蔵する貴重な歴史資料の活用 [H19予算額:約2百万円] 「ふるさと文学コーナー」情報発信事業... 郷土作家の作品等の普及 [H19予算額:約1百万円]</p>
今後の課題	<p>県民の読書の楽しみや学習活動を支援する図書館となるために、地域や住民の身近な課題の解決に必要な様々な資料の収集やデータベースの拡充等情報を提供する機能の一層の充実や様々な機関との連携・協力が必要です。</p> <p>また、子どもの読書活動を進めるため、本に興味を持ち楽しく読書に親しむ環境を整備することが必要です。</p> <p>利用者サービスの向上のため市町立図書館への支援、連携をさらに充実させるほか、新たに大学図書館等とも連携し相互にサービスを利用できる仕組みの整備が必要です。</p>
今後の事業方針 取り組み内容	<p>以下の取り組みにより、役に立つ図書館としてサービスの充実を図ります。</p> <p>地域や住民が持つ諸課題の解決に必要な情報の提供 ・図書館での貸出実績や市町からの貸出要望の多い参考図書などを重点に整備します。 ・月ごとにテーマを決めた一般・子ども企画展示を行います。 (身近な問題の解決に必要な資料や情報を提供) (資料を見るだけでなく利用者が参加できる企画展示等) ・関係機関と連携した企画展示に関連した講座等を開催します。 サービスの充実 ・レファレンス機能を充実します。 (ホームページの提供資料の拡充、パスファインダーの作成、情報の発信) ・産業支援コーナーの機能を拡充します。(関係資料・データベースの充実、関係機関との連携) ・県内小中学校への図書館見学メニューの配布や学校への貸出サービスの広報を行います。 ・図書館ネットワークを拡大します。(大学図書館との連携) ・子どもから大人までが楽しめるイベントや講演会等の開催 ・子どもへの朗読会、お話し会を開催します。 ・ふるさと文学コーナーの展示内容等を充実します。(積極的資料収集、情報発信の充実) ・作家や児童文学者等の講演会を開催します。 ・長期休暇中(夏休み、春休み)のイベント等を開催します。</p>